



## 【先週のメッセージより】 悔い改めるといふこと

マタイ3章  
ルカ3:1～18

全ての人は神の前では罪人であるため、神の御前にそのままでは出ることができない。神が罪人に求めておられることは、旧約時代、新約時代問わず、1) 悔い改めること、2) 贖いを信じ、3) 悔い改めにふさわしい実を結ぶ生きかたをすることである。この教えはバプテスマのヨハネにより、より鮮明になった。以下は、悔い改めに関する重要事項である。

### ● 赦して下さる神に立ち返る

神はどんな罪をも赦して下さるといふ約束を信じて、神に立ち返ることが大切である。放蕩息子を思い出そう。

### ● 自分の罪をはっきり告白する

神は私たちの罪をすでに全てご存知であられるがゆえに、神が私たちに求めておられるのは、私たちが素直にその罪を認めることである。これを罪を告白と言う。自らを十戒に照らし、何が御心にかなわず神の御前で罪であったかをはっきりさせよう。

### ● 犠牲による贖いを信じ、神の赦しを感謝を持って受け入れる

旧約時代、人々は年に一回犠牲動物を宮に連れて行き、そこで動物を屠り、血を流し、焼いて煙とした。主なる神が立ち上る煙を嗅がれ、自分に対する憤りを取り除いてくださったことを信じ、その赦しを感謝して受け入れることが教えられていたのである。さて旧約時代の犠牲動物は実はやがて来る実体を示す予型であった。果たし

てその実体、つまり主イエスが来られ十字架上で完全な犠牲となり、全人類の贖いをなされたのである。今、私たちに求められている事は神が提供して下さった赦しを信じることなのである。

### ● 赦しを感謝し、悔い改めに

#### ふさわしい生き方をする

罪赦された者は、罪を赦して下さった神への感謝の思いから、自ら進んで罪を捨て、新たに十戒（神を愛し、人を愛す）の基準に基づいて生きることを決心し、聖霊の助けに信頼しつつ愛を実践する生き方を日々決心していく。

### ● 躓いても倒れても、いつもそこから再スタート

家出していたのが家に戻って来たのが私たちである。家に戻った者でも残念ながらまた罪を犯す。しかし罪はそのまま放って置かれることはない。なぜなら私たちの家庭教師である聖霊が常に私たちの誤った歩みを正し、愛と正義に歩むように教育して下さるからである。■

【今週の暗唱聖句】ヨハネ1：29

# 見よ。世の罪を 取り除く神の小羊。

ヨハネが語る「神の小羊イエス」には、弱いとか優しいというイメージはない。それは勝利者である（黙示録5:12, 17:14）。では、何に対する勝利者であるのか。「キリストが現われたのは罪を取り除くためであったことを、あなたがたは知っています。」

(Iヨハネ3:5)とヨハネは語る。さらに八節で「神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです」と言い換える。つまり、罪を取り除くというの

は「悪魔のしわざを打ちこわすことであり、罪からの完全な解放を意味する。キリストの救いは、今、そしてこれからも、完全に罪を滅ぼして取り除き、私たちを勝利者とすることなのである。■



-----成長103号P138より

しんこうもんどう

## 【こども信仰問答】

問10 あなたは神さまを目で見ることができますか。

答え 神さまは霊ですから、目で見えることはできません。でも神様はいつも私たちを見ておられます。

聖書 神は…ただひとり死のない方であり、近づくこともできない光の中に住まれ、人間がだれひとり見たことのない、また見ることのできな方です。Iテモテ6章16節

問11 神さまは、何でもできますか。

答え 神さまはご自分の聖い願いを何でもすることができます。

聖書 ああ、神、主よ。まことに、あなたは大きな力と、伸ばした御腕とをもって天と地を造られました。あなたには何一つできないことはありません。エレミヤ32章17節■